



公共工事等における新技術活用システム
事後評価結果通知書

国部整施企第71-2号
平成26年11月25日

株式会社 トヨタ
代表取締役 豊田 律次 殿

国土交通省
中部地方整備局長 八鍬 隆



平成21年 1月 8日付をもって申請のありました技術について、新技術活用評価
会議における評価の結果を様式V-3のとおり通知します。なお、評価結果については
NETISに掲載します。

記

1. 技術名称：かたわくエコちゃん
2. NETIS登録番号：CG-080020-A
3. 評価結果：様式V-3のとおり
4. 継続調査等の必要性について：継続調査等を必要としない
5. その他：この結果に基づき、当該技術のNETIS登録番号・情報種別記号は「-VE」
に変更され、掲載期限が当初にNETIS登録した翌年度の4月1日から起算
して10年を経過した日まで延長されます。
また、今後の活用効果調査、事後評価は実施されません

異議申し立てについて

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日の翌日から起算して10日
以内に整備局長あてに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申し立てを行
うことができます。

(提出先)

国土交通省中部地方整備局
新技術活用評価会議事務局

活用効果評価結果

平成26年度

中部地方整備局 / 新技術活用評価会議

N E T I S 情 報	開発目標	耐久性の向上、地球環境への影響抑制、省資源・省エネルギー																																																																																									
	新技術登録番号	CG-080020-A	区分	材料	有用な技術の位置づけ	-																																																																																					
	分類	コンクリート工 - コンクリート工 - 型枠工 - 一般型枠工																																																																																									
	新技術名	かたわくエコちゃん																																																																																									
	比較する従来技術(従来工法)	塗装合板																																																																																									
	新技術の概要及び特徴	本技術は、ポリプロピレン樹脂と有機繊維を複合化することによってコンクリート型枠用合板の表皮材を開発し、従来の塗装合板と比較して耐久性の高いコンクリート型枠用合板を実用化したものである。																																																																																									
活用効果評価	所見	<p>【優れていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・型枠の耐久性が向上することにより、転用回数が増加し、トータルコストの縮減と型枠廃材による産業廃棄物の減少が図られている。 <p>【劣っていた所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし。 																																																																																									
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	活用効果調査及び活用効果評価を継続する技術としての選定要件にあてはまらないため継続調査は実施しない。よって、情報種別記号「-VE」とする。																																																																																									
	留意事項	・現場条件により転用回数が少ない場合、申請情報の経済性と異なるケースがある。																																																																																									
	活用効果調査表における改良点及び要望	・該当なし。																																																																																									
			<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>— 従来技術(従来工法) — 新技術</p>																																																																																								
活用効果調査結果	対象工事	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型(契約前提案)</td></tr> <tr><td>2</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型(契約前提案)</td></tr> <tr><td>3</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型(契約後提案)</td></tr> <tr><td>4</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型(契約前提案)</td></tr> <tr><td>5</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型</td></tr> <tr><td>6</td><td>橋梁上部工工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型</td></tr> <tr><td>7</td><td>高架橋工事</td><td>(従来技術 : 塗装合板)</td><td>施工者希望型(契約後提案)</td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>16</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>17</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>18</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>19</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>20</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>										1	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)	2	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)	3	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約後提案)	4	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)	5	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型	6	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型	7	高架橋工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約後提案)	8				9				10				11				12				13				14				15				16				17				18				19				20			
	1	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)																																																																																							
	2	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)																																																																																							
	3	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約後提案)																																																																																							
	4	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約前提案)																																																																																							
	5	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型																																																																																							
	6	橋梁上部工工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型																																																																																							
	7	高架橋工事	(従来技術 : 塗装合板)	施工者希望型(契約後提案)																																																																																							
	8																																																																																										
	9																																																																																										
	10																																																																																										
	11																																																																																										
	12																																																																																										
	13																																																																																										
	14																																																																																										
15																																																																																											
16																																																																																											
17																																																																																											
18																																																																																											
19																																																																																											
20																																																																																											
ケース番号および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の平均(点)	従来技術(従来工法)(点)																																																																					
項目	H25	H25	H24	H23	H23	H22	H23																																																																																				
施工時評価	経済性	B	A	C	D	D	B	C														C	C																																																																				
	工程	C	C	C	C	C	C	C															C	C																																																																			
	品質・出来形	C	C	B	C	C	C	C															C	C																																																																			
	安全性	C	C	C	C	C	C	B															C	C																																																																			
	施工性	C	C	C	C	C	C	C															C	C																																																																			
	環境	A	B	B	C	B	B	C															B	C																																																																			
	その他																																																																																										
総合評価点	C	B	C	C	C	C	C															C																																																																					
今後、当該技術を活用出来る工事に活用した	今後も是非活用したい		活用を検討したい		場合によっては活用することもある		技術の改良を強く望む		各項目における判定																																																																																		
	-		-		-		-		<table border="1"> <tr><td>A</td><td>従来技術より極めて優れる</td></tr> <tr><td>B</td><td>従来技術より優れる</td></tr> <tr><td>C</td><td>従来技術と同等</td></tr> <tr><td>D</td><td>従来技術より劣る</td></tr> </table>													A	従来技術より極めて優れる	B	従来技術より優れる	C	従来技術と同等	D	従来技術より劣る																																																														
A	従来技術より極めて優れる																																																																																										
B	従来技術より優れる																																																																																										
C	従来技術と同等																																																																																										
D	従来技術より劣る																																																																																										
追跡調査の必要性	不要																																																																																										
追跡調査																																																																																											